

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 56-043085

(43) Date of publication of application : 21. 04. 1981

(51) Int. Cl. B63B 17/04
B63B 5/24

(21) Application number : 54-121296 (71) Applicant : YAMAHA
MOTOR CO
LTD

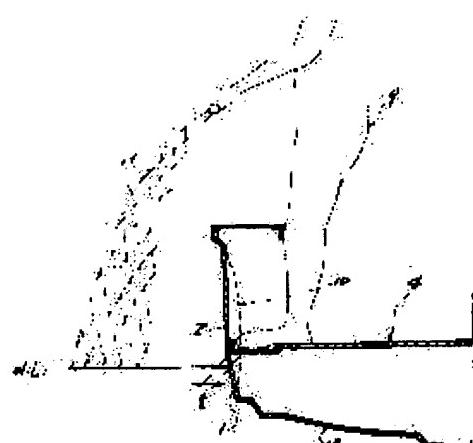
(22) Date of filing : 19. 09. 1979 (72) Inventor : MIWA JUNJI

(54) BODY CONSTRUCTION OF SMALL SHIP

(57) Abstract:

PURPOSE: To perform an easy work of drawing up a net on a deck and increase its area, by continuously forming a ship side outer board and bulwarks in such a manner as to obtain a convex shape in their connection part in the cross sectional shape of a ship body.

CONSTITUTION: In a ship like small sized fishing boats made of Fiber Reinforced Plastics (FRP), a ship side outer board 1 and bulwarks 2 in its cross sectional shape are successively formed in such a manner as to obtain a convex shape in their connection part. In this formation, the cross section of a ship body can be formed into a convex shape as compared with a conventional ship side shape 10 to eliminate a wrong working poise or narrow working space on a deck 4 when a net draw up work is performed on the deck.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) ; 1998, 2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56-43085

⑬ Int. Cl.^{*}
B 63 B 17/04
5/24

識別記号

序内整理番号
7270-3D
7721-3D⑭ 公開 昭和56年(1981)4月21日
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑮ 小型船舶の船体構造

浜松市古人見町1538番地の37

⑯ 出願人 ヤマハ発動機株式会社

磐田市新貝2500番地

⑰ 代理人 弁理士 小谷悦司 外1名

⑭ 特願 昭54-121296

⑮ 出願 昭54(1979)9月19日

⑯ 発明者 三輪準治

明細書

1. 発明の名称

小型船舶の船体構造

2. 特許請求の範囲

1. 船体の横断面形状において、船側外板とブルワーカーとを互いに離す部が外側に凸形状になるように連続させたことを特徴とする小型船舶の船体構造。

3. 発明の詳細な説明

この発明は小型船舶の船体構造の改良、とくに船体横断面形状における船側外板およびブルワーカーの改良に関するものである。

従来の小型船舶では、横断面形状で船側外板およびブルワーカーは、第2回仮想線10で示すように内向きに彎曲して形成されている。このためデッキ上で引上げ等の作業をする際ブルワーカーが船内側に位置しているため作業姿勢が悪くなり、またデッキ上の面積もそれだけ狭くなるという欠点があった。

この発明はこのような欠点の解決のためになさ

れたものであり、船側外板とブルワーカーとの接合部が船の横断面形状で外側に凸になるよう形成したものである。

以下、この発明をFRP製の小型船舶に適用した実施例を図面によって説明する。第1図および第2図において、1は船側外板、2はブルワーカー、3は防舷材、4はデッキ、5はガンドル、6は支柱、7は並し板、8はパイプフレーム、9は人、11は梯子、19は底板、20は船尾ブルワーカー、21は船首ブルワーカーである。船側外板1とブルワーカー2とは、第2図に示すように、互いの接続部で外側に凸形状にするように形成し、この部分の内側にデッキ4の脚部が隠蔽されている。このように形成すると、第10で示すような従来の形状に比べて片側で寸法をだけてデッキの幅が広かるため人9は足先を船側にその分だけ寄せることができ、従って網11の引上げ等の作業を楽を容易に行なうことができる。またデッキ4の幅が広くなることによってデッキ上に物を置むスペースを拡大し、さらに船の水線面が増大することによって

構造原力も拡大することになる。

また上記形状のばあいブルワーク 2 が表面に近くをためて第 3 ~ 6 図に示すようにパイプフレーム 8 をブルワーク内面に形成させることも可能である。すなわち、ブルワーク 2 の内側にはガンキル 5 とデノキ 4 との間でパイプ 8 2 を配置すると共にこれを FRP の素材 8 1 でブルワーク 2 およびガンキル 5 に対して囲象させ、パイプフレーム 8 を形成させる。このパイプフレーム材上部に開口部 8 0 が形成されているので、ここから支柱 6 を導入させる。またこの支柱間のガンキル 5 上には第 4 図に示すように調節材 6 6 をボルト 6 8 によって取付け、その頭 6 7 と支柱 6 の頭 6 1 とが差し板 7 を嵌入させることによって取付ける。船首ブルワーク 7 0 は、第 5 図に示すように、船首ガンキル 5 の形状に対応させて船首 U 字形と一緒に形成すると共に内方に開口部 7 5 を設け、その孔 7 4 にボルト 7 3 を通して取付けることによってガンキル 5 に固定される。この船首ブルワーク 7 0 に対してその端面 7 1 に沿うように該素材

- 3 -

特許第36-43085(2)

6 6 を取付け、ボルト 7 3 で固定せらる。そしてこの部分では差し板 7 およびガンキル 5 に突起 7 6, 7 6 を形成し、これらにゴム製のストッパ 7 7 を掛け締して差し板の抜け止めをすればよい。前述ブルワーク 2 の側の差し板もこれと同様に取付けられればよい。

このようにして差し板 7 を取付けると、ブルワークが高くなるので航行中は船のデッキ上への行上りを防止することができ、また網上り等の作業をする際には差し板 7 および支柱 6 を外してブルワークを保くすればよい。支柱 6 を外した際には、第 5 図に示すように開口部 8 0 にキャップ 8 8 を取付けるようすればよい。またパイプ 8 2 内に投入した水を排出させるために、パイプ下部には通常の小孔を形成させておく。

このように、この発明は船側外板とブルワークとの接続部が横断面形状で外側に凸形状になるように形成させたものであり、このためデッキの幅が広くあってデッキ上での作業が容易になり、また物の積載にも有利なものである。また上記構造

- 4 -

を採用することによってブルワーク既パイプフレームを避け、これを利用して差し板を着脱自在に取付けることもできる。

4 図面の略歴を説明

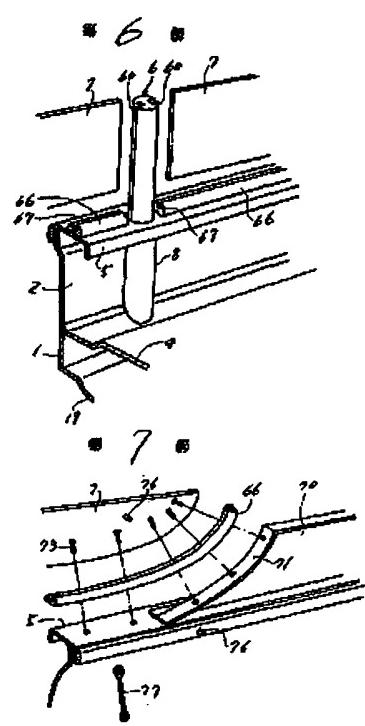
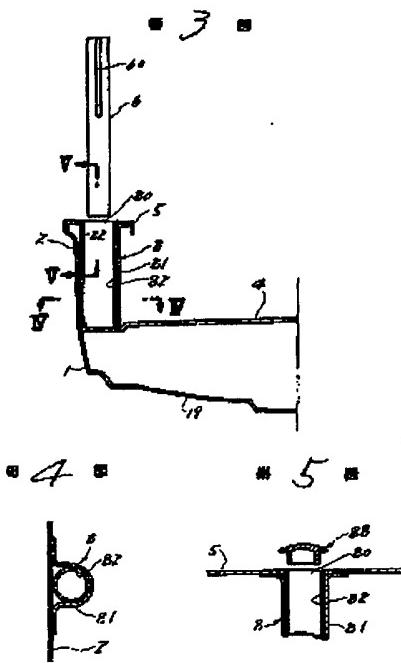
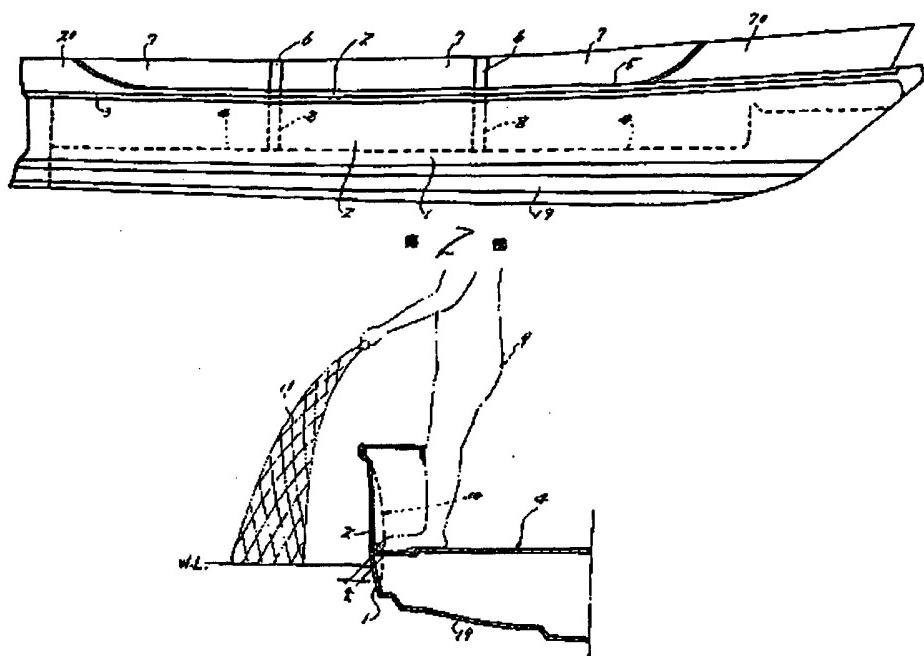
第 1 図はこの発明の実施例を示す側面図、第 2 図はその部分断面図、第 3 図はパイプフレーム部の部分横断面図、第 4 図は第 3 図の A-A 断面図、第 5 図は V-V 断面図、第 6 図は差し板取付け部の分解斜視図、第 7 図は船首差し板取付け部の分解斜視図、第 8 図は船首ブルワークの分解斜視図、第 9 図は差し板取付け状態の横断面図である。

1・船側外板、2・ブルワーク、3・デッキ、5・ガンキル、6・支柱、7・差し板、8・パイプフレーム。

特許出願人 ヤマハ祭物株式会社
代理人 井岡士 小谷悦司

- 5 -

特許56-43085(3)



3M66- 43085(4)

